

# 便秘

神山剛一

さいたま新開橋クリニック ベルビックフロアセンター長

## Point

- ▶ 患者の便秘がどのタイプにあたるのかを分類できる
- ▶ 便性状から、下剤の効果をアセスメントできる
- ▶ 食事日誌や排便チャートを活用し、適切にアプローチできる

## はじめに

便秘はありふれた症状の1つで、平成25年の国民生活基礎調査<sup>1)</sup>によると、人口1000人に対する有訴者は、男性26人、女性46.7人でした(図1)。SauresとFordらの調査<sup>2)</sup>でも、便秘は地域人口の14%にみられ、とくに女性や高齢者に多いと報告されています。これは、日本における性別・年齢分布とも一致します。一方で、単なる加齢と排便回数に直接的な関連があるかは明確ではなく<sup>3,6)</sup>、また高齢者だからといって必ずしも結腸通過時間が延長するわけでもありません<sup>6,7)</sup>。このことから高齢者に伴う便秘は、併存する全身疾患や多数の服薬などといった要因が、二次的に腸管運動へ作用した結

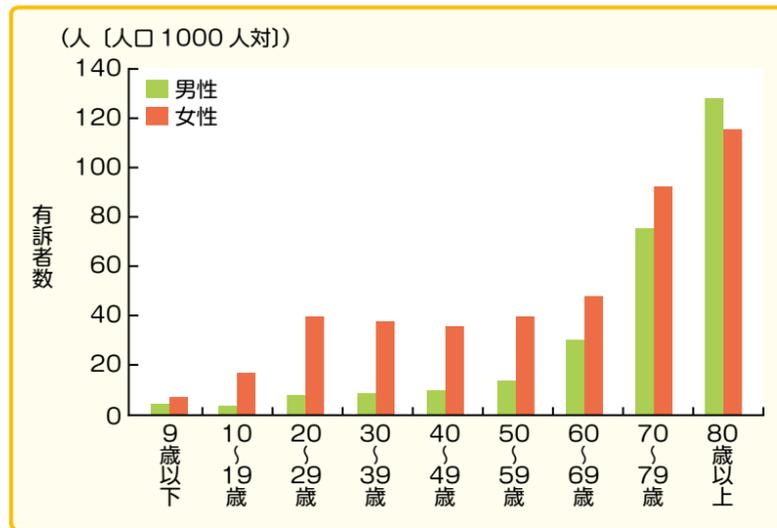


図1 便秘の自覚症状 (文献<sup>1)</sup>より引用)

果であると考えられます。また人種による違い<sup>8)</sup>や地域によって発生率が異なるといった報告<sup>9)</sup>もみられ、図2に示すように便秘をきたす背景は

複雑で多様であると指摘されています<sup>10)</sup>。したがって、便秘患者をアセスメントするにはこれらの点を踏まえ、患者の生活様式や症状出現の経緯について、できるだけ詳しく把握しておく必要があります。本章ではWOCナースが便秘患者に対して適確なアセスメントを行い、より専門的なケアが実践できるように解説します。

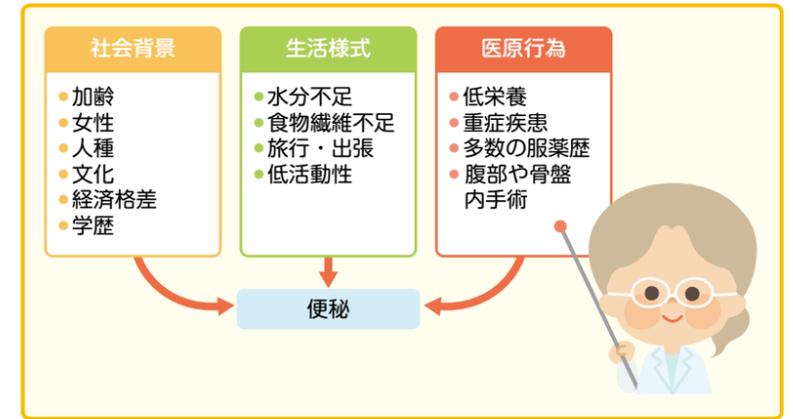


図2 便秘の原因となる多様な要因 (文献<sup>10)</sup>より引用)

## 便秘の3つのタイプ

### 便秘の分類

2013年に米国消化器病学会(以下AGA)が便秘治療のアルゴリズム(図3)を公表しており<sup>11)</sup>、

このなかで便秘は①通過時間遅延型便秘、②正常通過時間型便秘、③排出困難型便秘の3つのカテゴリーに分類されています。「正常通過時間なのに便秘?」と戸惑ってしまいますが、②は古典的な

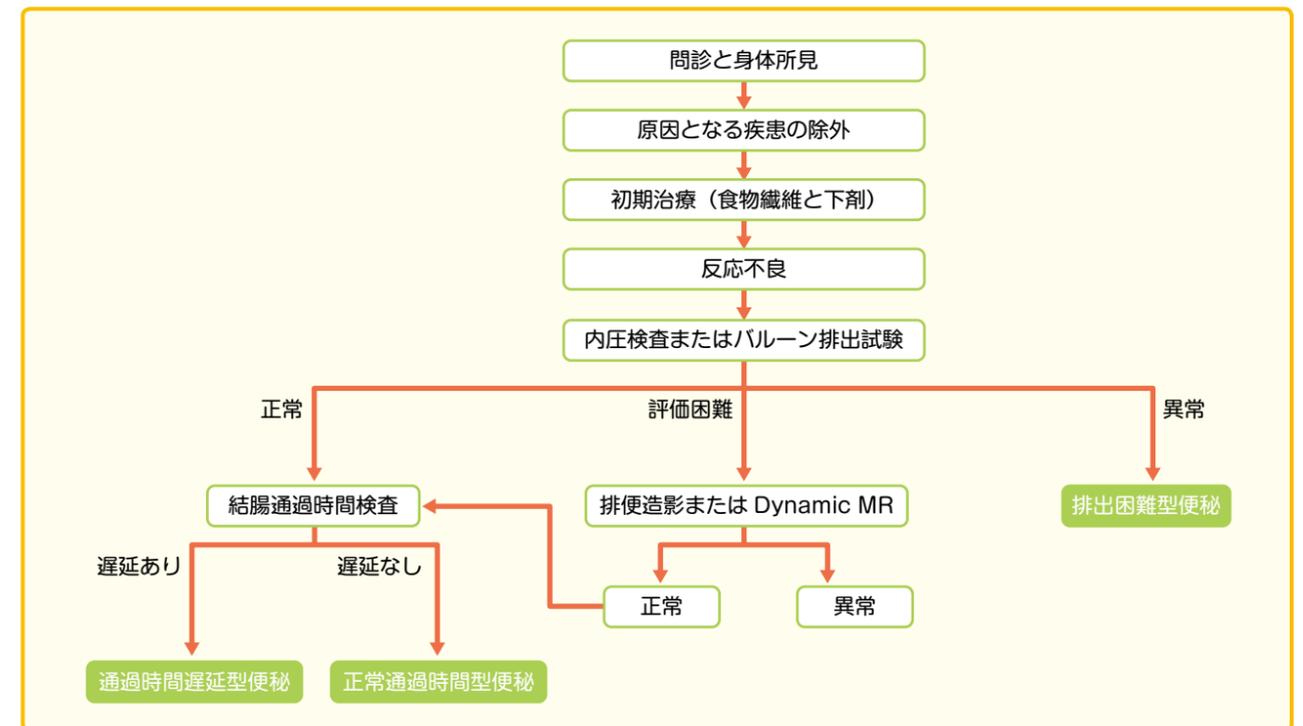


図3 便秘治療の流れ (文献<sup>11)</sup>より引用)